

第29回 南区会長杯争奪選手権大会
第23回 下京・南支部理事長旗争奪大会
第29回 城南少年野球親睦旗争奪大会

特別規則と注意事項

南区少年野球振興会

1. 選手登録はありません。当日のメンバー表により代用する。
2. ベンチには、当日のメンバー表に記載された選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出きない。
ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。
3. 監督・コーチは選手と同一意匠のユニホーム・スパイク・ゴム底運動靴の着用を義務づける。
《監督は30・コーチは28・29の背番号をつけていること。》
4. 試合時間は、1時間20分とし以降新しいイニングには入らない。《ただし、決勝戦は1時間30分とする》
5. 本大会の試合回数は7回とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。
《ただし、決勝戦は特別ルールにて勝敗が決するまで行う》
【特別ルールは、ワンアウト満塁で、1番バッターからという同一条件にて行う。】
6. 4回10点、5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《但し決勝戦は採用しない》
7. 野手がボールデッドライン付近のフライを捕球後にボールデッドゾーン内に入った場合は、ファウルボールとする。
8. 手袋の使用は、打者および投手以外の野手については、これを認める。
9. 投手交代時の投球練習中のダッグアウトを出ての素振りは、次打者にのみこれを認める。
10. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
11. 試合開始時間になっても球場に来ないチームは棄権とする。
12. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
13. 暗雲降雨により試合を中断・中止した場合、5回を終了していれば試合成立として終了する。
但し、それ以外の場合は、継続試合として後日改めて行う。
14. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
15. 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。《但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ》
16. 球審は、当振興会審判員にて行い、塁審のみ各チームより出す。
《準決勝戦・決勝戦は球審・塁審とも当振興会審判員にて対応する。》
17. 審判の服装は白色の長袖カッターシャツ、紺色又は黒色のズボンを着用し、靴も黒色の物を履くこと。
《担当試合の30分前には、集合すること》
18. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
19. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
20. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
21. 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し『太陽の家』の建物へ避難する。
22. その他競技規則は、2016年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。